



NEWS RELEASE

報道資料

2025 年 8 月 18 日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ 2025 年度第 3 四半期の決算を発表

- 四半期売上高：過去最高の 73 億ドル、前年同期比 8%増
- 売上総利益率：GAAP ベースで 48.8%、非 GAAP ベースで 48.9%
- 営業利益率：GAAP ベースで 30.6%、非 GAAP ベースで 30.7%
- 1 株当たり利益：GAAP ベースで 2.22 ドル（前年同期比 8%増）、非 GAAP ベースで過去最高の 2.48 ドル（前年同期比 17%増）

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO ゲイリー・E・ディッカーソン) は 8 月 14 日（現地時間）、2025 年度第 3 四半期（期末：2025 年 7 月 27 日）の決算を発表しました。

社長兼 CEO のゲイリー・ディッカーソンは次のように述べています。「アプライド マテリアルズは 2025 年度第 3 四半期に過去最高の業績を達成し、2025 年度は 6 年連続の売上成長を見込んでいます。現在、マクロ経済や政策の変動が激しい環境下にあり、特に中国でのビジネスを含め、短期的には不確実性が高まり、先行きの見通しが難しい状況です。こうした状況下においても、半導体業界およびアプライド マテリアルズの長期的な成長機会については、揺るぎない確信を持っています。」

シニアバイスプレジデント 兼 最高財務責任者 (CFO) ブライス・ヒルは次のように述べています。「第 4 四半期の売上高は、中国市場における設備投資の一時的な調整に加え、最先端技術を採用する顧客からの需要が、市場の集中度やファブの稼働タイミングの影響を受けて不規則に推移していることから、減少する見込みです。当社は、強固なサプライチェーン、世界各地に広がる製造体制、そして長年にわたって築いてきた顧客との信頼関係を活かしながら、こうした短期的な不確実性に柔軟に対応しています。」

業績概要

	2025 年度		2024 年度		
	第 3 四半期		第 3 四半期		増減
(単位：100 万、1 株当たり数字と比率を除く)					
売上高	\$	7,302	\$	6,778	8%
売上総利益率		48.8 %		47.3 %	1.5 ポイント
営業利益率		30.6 %		28.7 %	1.9 ポイント
純利益	\$	1,779	\$	1,705	4%
希薄化後 1 株当たり利益 (EPS)	\$	2.22	\$	2.05	8%
非 GAAP ベースの業績					
非 GAAP ベースの売上総利益率		48.9 %		47.4 %	1.5 ポイント
非 GAAP ベースの営業利益率		30.7 %		28.8 %	1.9 ポイント
非 GAAP ベースの純利益	\$	1,989	\$	1,767	13%
非 GAAP ベースの希薄化後 EPS	\$	2.48	\$	2.12	17%
非 GAAP ベースのフリーキャッシュフロー	\$	2,050	\$	2,088	(2)%

当社ウェブサイトに記載している財務諸表中に GAAP と非 GAAP データの差異調整表を掲載しています。このほか、後出の「非 GAAP ベースの財務指標の利用について」の項もご参照ください。

事業展望

アプライド マテリアルズの 2025 年度第 4 四半期の売上高、非 GAAP ベースの売上総利益率、非 GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益の見通しは、概算で以下のとおりです。

	2025 年度第 4 四半期		
(単位：100 万、比率と 1 株当たり数字を除く)			
売上高	\$6,700	+/- \$	500
非 GAAP ベースの売上総利益率	48.1%		
非 GAAP ベースの希薄化後 EPS	\$2.11	+/- \$	0.20

非 GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益の予測では、完了した買収に関する既知の費用 1 株当たり 0.01 ドルを除外し、無形資産のグループ会社間移転に関する所得税控除額 1 株当たり 0.04 ドルを含めていますが、現時点で未知の項目（買収に関連する追加費用、その他の営業外項目または特殊項目など）、その他の税関連項目などについては、本来的に不確定性が高く、過大な努力を払わない限り予測が難しいため反映していません。

第3四半期のセグメント別業績

	2025 年度 第3四半期	2024 年度 第3四半期
半導体システム		
(単位：100 万、比率を除く)		
売上高	\$ 5,427	\$ 4,924
ファウンドリー、ロジックその他	69 %	72 %
DRAM	22 %	24 %
フラッシュメモリ	9 %	4 %
営業利益	\$ 1,966	\$ 1,712
営業利益率	36.2%	34.8%
非 GAAP ベースの業績		
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 1,977	\$ 1,722
非 GAAP ベースの営業利益率	36.4%	35.0%
	2025 年度 第3四半期	2024 年度 第3四半期
アプライド グローバル サービス		
(単位：100 万、比率を除く)		
売上高	\$ 1,600	\$ 1,580
営業利益	\$ 445	\$ 467
営業利益率	27.8 %	29.6 %
非 GAAP ベースの業績		
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 445	\$ 467
非 GAAP ベースの営業利益率	27.8 %	29.6 %
	2025 年度 第3四半期	2024 年度 第3四半期
ディスプレイ		
(単位：100 万、比率を除く)		
売上高	\$ 263	\$ 251
営業利益	\$ 62	\$ 16
営業利益率	23.6%	6.4%
非 GAAP ベースの業績		
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 62	\$ 16
非 GAAP ベースの営業利益率	23.6%	6.4%
	2025 年度 第3四半期	2024 年度 第3四半期
本社その他		
(単位：100 万)		
未配賦売上高	\$ 12	\$ 23
未配賦売上原価及び費用	(252)	(276)
合計	<u>\$ (240)</u>	<u>\$ (253)</u>

非 GAAP ベースの財務指標の利用について

アプライド マテリアルズは、一部の項目について投資家の皆様に非 GAAP ベースの財務指標もお伝えしています。これは一部のコスト、経費、損益項目の影響を調整したもので、この中には統合・買収に関連する一部の項目、リストラクチャリングおよび退職に伴う費用とそれに関連した調整、資産減損、戦略的投資の売却損益ならびに配当と減損、一部の法人税項目やその他の個別調整などが含まれます。非 GAAP ベースでは、株式ベース報酬に関連する税効果を、会計年度を通して按分計上しています。こうした非 GAAP ベースの数値と、GAAP（一般会計原則）に基づいて算出・表示された最も直接比較し得る財務数値との差異調整方法は、本リリースの財務諸表中に示されています。

当社の経営陣は、営業成績や財務成績の評価と計画立案のため、ならびに役員報酬プログラムの評価基準として、非 GAAP ベースの業績を用いています。こうした財務指標は、当社の業績全般に対する理解を助け、投資家の皆さまが経営陣と同じ視点に立って当社の事業を検討することを可能にするとともに、当社の継続的な事業成果とは性格が異なると判断される項目を除外することで、過去の会計期と当期の業績を一貫性のある形で比較することが容易になると考えています。これらの財務指標は一般会計原則として受け入れられている GAAP に沿ったものではなく、また他社の用いる非 GAAP ベースの会計手法とは異なる場合があるほか、当社の会計報告における財務業績に重大な影響を及ぼし得る一部項目が除外される場合もあるため、非 GAAP ベースの財務指標は限定的に利用するものとします。この追加情報は独立して考慮されることを意図したのではなく、この提示をもって直接比較可能な GAAP に基づく業績データを代替するものではありません。

将来予想に関する記述について

本プレスリリースには、当社の事業や市場の成長予測とトレンド、業界見通しと需要拡大要因、テクノロジーの遷移、当社の事業・財務成績および市場シェア、資本配分と資金運用戦略、投資・成長戦略、新製品とテクノロジーの開発、2025 年度第 4 四半期以降の事業展望など将来の見通しに関する記述や、過去の事実には該当しないその他の記述が含まれています。こうした記述やその前提をなす仮定はリスクや不確定要素に左右され、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。こうした記述が明示ないし黙示する帰結と実際の結果の間に大きな違いをもたらし得る要因としては、当社製品への需要水準；グローバルな経済・政治・業界動向（金利や財・サービス価格の変動を含む）；追加の輸出規制と許可要件の履行ならびに解釈と、これらが当社の製品輸出能力やお客さまへのサービス提供能力、さらには当社の業績に及ぼす影響；グローバルな貿易問題および貿易・輸出許可政策の変更、ならびに当社が許認可をタイムリーに取得する能力；関税の新たな導入ないし引き上げと報復措置、およびこれらが当社の製品・サービスに及ぼす影響；当社が関税の影響を効果的に緩和する能力；地政学的な紛争や衝突による影響；半導体チップおよび電子デバイスへの需要；技術や生産設備に対する取引先企業のニーズ；新たな革新的テクノロジーの導入とテクノロジー移行のタイミング；当社が新しい製品やテクノロジーを開発・提供・サポートする能力；当社がお客さまの需要に応える能力、および当社サプライヤーが当社の需要要請に応える能力；当社顧客ベースの集約傾向；当社が既存市場を拡大してシェアを伸ばし新規市場を開拓する能力；既存ならびに新開発の製品に対する市場の受容性；当社が主要テクノロジーに関する知的財産権を取得ならびに保護する能力；サイバーセキュリティ事故が当社情報システムやこれに含まれる情報に及ぼす影響、または当社業務、サプライヤー、お客さま、ベンダーへの影響；当社が業務および戦略的イニシアティブの目的を達成し、リソースとコスト構造を事業環境に適合させ、主要社員を引き付けて意欲を高め定着させる能力；地域的あるいはグローバルなエピソード（疾病の流行）による影響；買収、投資、会社分割；所得税法の改正；製品やセグメント間での営業費用や業績のばらつき、および当社が将来の業績・市況・取引先の要求・ビジネスニーズを正確に予測する能力；

適用される法律、規則、規制の遵守を当社が確保する能力、および当社が証券取引委員会（SEC）に提出する書類（最新の Form 10-Q および 8-K 報告書を含む）に記載しているその他のリスクや不確定要素などがあります。将来の見通しに関する記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライドマテリアルズは将来の見通しに関する記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズ（Nasdaq: AMAT）は、材料工学のソリューションを提供するリーダーとして、世界中のほぼ全ての半導体チップや先進ディスプレイの製造を支えています。アプライドが生み出すテクノロジーは、AI の進化を促進し、次世代チップの市場展開を加速するために必要不可欠なものです。私たちは材料科学と工学の限界に挑み、マテリアル イノベーションで世界を変えていきます。

詳しい情報はホームページ www.appliedmaterials.com でもご覧いただけます。

このリリースは 8 月 14 日、米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：中尾 均）は 1979 年 10 月に設立。大阪支店、川崎オフィスのほか全国各地にサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関するお問い合わせは下記へメールにてご連絡をお願いいたします。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社 広報宛メール Applied_Materials_Japan@amat.com

ホームページ： www.appliedmaterials.com/ja
